

トピックス 地域のニュースをお届けします！

佐倉市で産×学×官SDGsプロジェクト

高校生と飲食店がSDGsオリジナルスイーツを 共同開発しました！

11月3日（水・祝）、イオンタウンユーカリが丘で高校生と飲食店が共同開発した「^{あす}未来へつなぐSAKURAスイーツ」SDGsオリジナルスイーツの試食会と発表会が開催されました。

SDGsオリジナルスイーツの開発は、八千代市にある一般社団法人MIRAI-KOMINKA for Schoolが、地域の企業や団体などと協力し、一企業のみでは成しえないSDGs活動の輪を広げていこうと、「^{あす}未来へつなぐSAKURAスイーツ」プロジェクトとして、今年度初めて取り組んだものです。

佐倉市の後援や地元企業・飲食店等の協力を得て6月から本格始動。未来を担う学生たちが“気付き・考え・行動する”をモットーに、佐倉・八千代市内の飲食店4店舗とSDGsオリジナルスイーツ作りに取り組み、佐倉高等学校と佐倉東高等学校、そして、SDGsの取り組みで先進的な東京都の新渡戸文化学園高等学校の7チームが商品化を実現しました。各チームとも佐倉市について学び、特産品や名産品である大和芋や味噌、佐倉茶のほか、米粉や規格外野菜などを食材として使用。高齢化や人口減少、認知度の低さといった佐倉市の地域課題と、食品ロスなどの社会問題にも着目した様々なSDGsオリジナルスイーツが誕生し、高校生自らが商品のプレゼンテーションを行いました。

【学生によるプレゼンテーション】



新渡戸文化学園高等学校



佐倉高等学校



佐倉東高等学校



【主催者挨拶】
一般社団法人MIRAI-KOMINKA
for School 金子保夫代表理事



左より、協力店のオリベート/ソレイユ（貝殻亭）/
カフェシュクル/入母屋珈琲の皆さん

食材として佐倉茶が使用された、株式会社小川園の小川勝弘代表取締役は、「若い方々の感性に驚きました。消費が低迷するなか、このような取り組みは大変有難い」と語り、店頭での販売に意欲を見せていました。高校生の発表後、西田三十五佐倉市長が挨拶に立ち、多くの地域課題を受け、これからも若い皆さんから厳しく指摘していただきたいと話し、企画の継続に期待を寄せました。また、開発に協力した4店舗から挨拶があり、それぞれ商品化までの苦労や工夫を振り返り、有益な機会であったと感謝の言葉を述べました。

プレゼンテーションのあとは、参加した高校生を始め、関係者やメディアを対象とした試食会が行われ、「大和芋と米粉のワッフルベリーパフェ」作りに取り組んだ佐倉高1年生は、プロジェクトを通してお店の力を実感。また、規格外野菜を使用した別チームの「ベジフルサンドキューブ」について、「斬新な発想にびっくりしました」と話し、ほかのチームの作品も興味深く試食していました。

【SDGsオリジナルスイーツ】



お芋のモンブラン「モンラック」/
新渡戸文化学園高等学校 × 入母屋珈琲



ベジフルサンドキューブ/
佐倉高等学校 × オリベート



フェアトレードチョコレート「麗しのマチュエル」/
新渡戸文化学園高等学校 × 貝殻亭「ソレイユ」



SAKURAティラミソ/
佐倉高等学校 × 入母屋珈琲



さくらグリーンティーシュークリーム/
佐倉東高等学校 × 貝殻亭「ソレイユ」



Ochaティラミス/
新渡戸文化学園高等学校 × オリベート



大和芋と米粉のワッフルベリーパフェ/
佐倉高等学校 × カフェシュクル



株式会社小川園
小川勝弘代表取締役



西田三十五佐倉市長

この日は販売会も行われ、高校生らがチラシを手に商品をPR、自分たちの企画したスイーツが販売されている様子を嬉しそうに撮影する姿が見られました。

7品のSDGsスイーツは、現在、開発協力店で販売中。10月18日から12月19日までは、サクラ・スイーツ・スタンプラリーを開催。全てのスイーツを食べ、スタンプを集めると、抽選で協賛店特別景品や食事券、協力企業・団体から美味しい景品が当たる特典が用意されています。

総勢約70名の高校生が佐倉市について学び、柔軟な発想のもと、プロのシェフがかたちにしたSDGsスイーツをぜひご賞味ください。

.....

(問) MIRAI-KOMINKA for School ☎ 047-409-1551
🌐 <https://www.miraikominka-forschool.com/>
佐倉市役所産業振興課 ☎ 043-484-6146



スマホで商品撮影

